

外国人住民に係る住民基本台帳制度への移行等に関する 実務研究会（第5回）議事概要

- 1 開催日時：平成22年1月28日（木）14：00～16：00
- 2 開催場所：総務省11階 共用1101会議室
- 3 出席委員：安西委員、五十木委員、妹川委員、植田委員、荻野委員、佐藤委員、高地委員、竹腰委員、千葉委員、長岡委員、日高委員、山下委員
- 4 主な議題：
 - 仮住民票の作成等に係る流れについて
 - 「外国人住民に係る住民登録業務のあり方に関する調査研究」最終報告（案）について
- 5 議事の概要：
 - (1) 仮住民票の作成等に係る流れについて（事務局）・・・資料1-①
 - (2) 登録原票に係る正確性確保の取組みについて（法務省）・・・資料1-②
 - (3) 「外国人住民に係る住民登録業務のあり方に関する調査研究」最終報告（案）について・・・資料2
 - (4) 意見交換等
 - ・ 複数国籍世帯の構成員に係る住民票については、施行日において世帯主名及び世帯主との続柄が修正されることから、仮住民票通知の際に添付資料として、続柄が変更になる旨や世帯構成一覧を併せて通知することも必要ではないか。
 - ・ 施行日の6月前をめぐり法務省から市町村に提供される在留資格等の最新のデータについては、外国人登録原票は市町村長による職権修正ができないことから、適宜変更登録を指導するとともに、基準日において仮住民票を作成する際の情報源とすることができるよう、例えば、事務負担を考慮しつつ外国人登録原票に何らかの記載をするなど、市町村において情報を記録しておく必要があるのではないか。
 - ・ 住基システムと住基ネットのCSとのインターフェース仕様及び法務省の出入国管理システムのインターフェース仕様については、市町村の住基システム改修作業へ影響を与えることから、早期に提示される必要があるのではないか。

以上